

Wi-Fiスポットの利用による情報流出に注意

～インターネットトラブル事例集より～



スマホは、携帯電話事業者の回線（4G/LTE/5Gなど）だけでなく、Wi-Fiスポットを使ってネットに接続することができることは皆さんご存じだと思います。現在、Wi-Fiが自由に使える場所が増えていますが、ネットを使いたいという人の思いを利用した悪質なWi-Fiスポットもあります。Wi-Fiスポットを安全に使うために気をつけたいことを考えてみましょう。

パスワード不要の無料Wi-Fiを使ったら



Lくんは、近所にパスワードがなくても無料でWi-Fiに接続できる場所を発見。安定していて使いやすかったので、ちよくちよくそこでネットを使っていました。

通信内容が盗みとられてしまった



Lくんの通信内容

- ・メール内容
 - ・アクセス履歴
 - ・書き込み内容
 - ・ID/パスワード
- ほか

でもそれは、他人の情報を盗む目的で設置されたWi-Fiでした。Lくんは通信内容をのぞかれ、大切な個人情報を盗まれてしまったのです。

★考えてみよう★

○悪質なWi-Fiスポット

悪意を持ったものがWi-Fiスポットを設置することもあります。新しくWi-Fiスポットに接続するときには、誰が提供しているのか、接続先の名称や鍵マーク（🔒）は正しいかを確認するようにしましょう。

○通信内容の保護

フリーWi-Fi接続中は個人情報の入力を控えるのが基本です。個人情報等を入力するときは、通信を途中で盗み見されないようにするために、ブラウザ上に鍵マークが表示されるか、URLが「https」からはじまっているかを確認しましょう。

○「いざ！」というときのために

緊急災害時など、携帯電話会社の電波が使いなくなることがあります。通学路や自宅の近くなどで安全なWi-Fiスポットをいくつか知っておけば、慌てずに済みます。

スマホのWi-Fi設定が「自動接続」だと意図せず悪意のWi-Fiに繋がってしまう危険性があります。今一度設定の確認もしておきましょう！

<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2022年版）」

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎:0776-20-0745（直通）

メール：kenan@pref.fukui.lg.jp

子どもの安全安心に関する情報を
ツイッターで発信しています →

